

路線名	都道府県	対象区間	1. 整備の必要性	2. 整備手法の考え方
日沿道	秋 田 県	本 荘 ～ 岩 城	<p>高速道路ネットワークは、県民生活の向上、活力ある県土の形成や災害時における緊急輸送、救急医療などにとって欠くことのできない重要な社会基盤である。</p> <p>平成19年には、第62回国民体育大会が秋田市を主会場に全県各地で開催されるため出来るだけ早急に整備する必要がある。</p>	<p>事業評価結果において、有料のケースではDランクになっておりますが、無料のケースのときは、交通量が増加してランクが上がっており、ぜひ「新直轄方式」でお願いします。</p>
		大館北 ～ 小坂 JCT	<p>平成19年に第62回国民体育大会が秋田県全域を会場に開催されるので出来るだけ早急に整備する必要がある。</p>	<p>当該区間については、ジャンクションで東北縦貫自動車道に直結しており料金所の設置が必要となる区間です。</p> <p>また従来より道路公団で整備してきた経緯もあり、基本的には「公団あるいは新組織による有料道路方式」です。</p> <p>しかしながら平成19年の秋田わか杉国体をひかえており、「いずれでも早期整備が可能となる方式」でお願いします。</p>
	山 形 県	温 海 ～ 鶴 岡 JCT	<p>必要性あり</p> <p>理由 本路線は、新たな国土軸として期待されている日本海国土軸を形成する道路として、新潟・山形・秋田・青森の四県主要都市を結びとともに、北陸・関越・磐越・山形・秋田・東北自動車道を連結することで、太平洋沿岸部と日本海沿岸部との縦横の高規格道路網を形成し、国土レベルの緊急時における代替、迂回路等のネットワーク機能の強化を図るうえで極めて重要な路線である。</p> <p>また、当該区間は、沿岸部の切り立った地形を縫うように走る国道7号が唯一の生活道路となっており、経済活動のみならず救急医療や防災対策などに対する安全安心を確保するためにも、早急な整備を進める必要がある。</p>	<p>「新直轄方式」により、確実かつ早急な整備を希望する。</p>
	新 潟 県	中 条 ～ 朝 日	<p>日本海沿岸東北自動車道の中条～朝日間を早期に整備することが必要である。</p> <p>理由 1) 日沿道の整備促進により、日本海側の物流の基軸「日本海ルート」の東半分がつながり、大平洋ルートと並ぶ物流の基軸として大きな社会的・経済的効果を発揮する。</p> <p>2) 当県では、日沿道の整備を前提として県北地域の医療格差解消を目指して、圏域の中心都市の新潟市に救命救急機能を持つ新たな県立病院を建設中であり、日沿道は、正に「命の高速道路」である。</p>	<p>1 整備手法について いづれでも、地方負担がなく早期整備が可能となる方式</p> <p>2 理由 新組織の基本的枠組み、新組織の投資総額、国の機構・新組織に対する監督権限等が不透明なため、現時点では判断できない。</p>